

- 「ヒロシマ平和の灯のつどい（報告）」 …… 1～3
- 広島市議会「女性議員との懇談会」、「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン（報告） …… 3～4
- 広島市女性団体連絡会議 2023 年度役員・ひろしま WENET からのお知らせ …… 4

第25回「ヒロシマ平和の灯のつどい」(報告) 2023年7月31日



いけない」との思いや、強い意志を感じるとともにい
まさしながら戦争と核の脅威を感じました。

第二部は、原爆死没者慰霊碑前に場所を移し、広島
平和文化センター荒瀬尚美常務理事のご挨拶の後、第
26 代高校生平和大使の五閑さくらさん、宇土未来さ
さん、氷戸ももさんが、「平和の灯」から採った灯を参
加者のろうそくに分火しました。

続いて、梶川純司さんによる篠笛の澄み切った音色
に合わせて参加者が「原爆を許すまじ」を合唱し、歌
声が被爆地の空高く響き渡りました。そして、網本え
り子さんによる詩「静かに歩いてつかあさい」「げ
んしばくだん」「その夜」の朗読があり、被爆され
た方々への鎮魂の祈りが一層深まりました。

参加者はろうそくを手に原爆死没者慰霊碑の周
りを二手に分かれてゆっくりと行進しました。風も無
く平和への思いが込められた灯は、静かに燃え続けま
した。最後に核廃絶と平和を希求する思いを込め、再
び梶川純司さんの篠笛に乗せて「青い空は」を合唱し
ました。（書記：宮田保江）

被爆78年目を迎える原爆の日を前に、原爆犠牲者
の慰霊、核兵器の廃絶、世界恒久平和の実現をろうそ
くの灯に託し、平和記念公園内を一周する第25回「ヒ
ロシマ平和の灯のつどい」をひろしまWENETと広
島市の共催で7月31日に開催しました。

特に今年は広島でG7サミットが開催され、このリ
ーダーたちへの「核はいらない、絶対に使わない」と
の私たちの決意に対する期待の高まりもあり、当日は
市民や国内外からの観光客たち約150人が参加し
ました。

第一部は、3歳の時に被爆された古家美智子さんの
お話を、広島平和記念資料館地下1階メモリアルホ
ールで聞きました。

真剣に話を聞いていた高校生平和大使の3人から、
前向きで平和への熱い思いのこもった質問もあり、未
来を背負う若い世代の「核兵器は必ずなくさなくては



【被爆者の証言を聞く会】

古家美智子さん

爆心地から 1.2km の上柳町(現:橋本町)で被爆



撮影/堂畝絢子

「被爆当時 3 歳だった私に原爆の記憶はありません。両親や姉から繰り返し聞いたことを中心にお話しさせていただきます。

7 月の半ば過ぎ頃からでしょうか。父の判断で私と姉は可部の旅館に疎開している祖母のところへ行くことになりました。私は祖母との生活に慣れなくて、だんだんと元気がなくなり、笑うこともしなくなったそうです。8 月 4 日、かわいそうに思った姉は上柳町の伯母の家にいる両親のところへ連れて行ってくれました。

8 月 6 日の朝は、土間に腰かけていたところに原爆がさく裂して吹き飛ばされました。顔面から右半身にかけ、ガラスの破片が突き刺さり、落ちてきた天井や梁の下敷きになりました。庭にいた父がすぐに助けにきましたが、私は血だらけになって泣き声も上げなかったため死んだと思ったそうです。重傷を負いながらも、かろうじて助かった伯母と私たち家族は、栄橋を渡り饒津神社に向かったのですが、境内は死傷者でいっぱいだったので、神社の裏山の中腹へ逃げました。

そこで黒い雨に遭い、父がトタン板を拾ってきて雨宿りしました。その後、牛田の知人宅に避難しました。

小学校に入学しますと、同級生には被爆者や父親を亡くした人、火傷や怪我をした人もいました。被爆したことを伏せていた人もいました。ずっと後で知ったのですが、差別を恐れた親御さんから『被爆したことは誰にも言うな』と止められていたそうです。私の生家は本通で時計屋をしておりまして、お客さんが来られると母は『この子は顔や手足にこんな怪我をして・・・』と、原爆がどんなに酷いものか積極的に訴えていました。見世物みたいに扱われるのは嫌だなと思ったこともありますが、被爆したことは恥ずかしいことではなく罪もないのに犠牲になったのだから、隠す必要もないと頭では考えていました。でも、思春期の頃はつらいこともありました。そんな中で気付いたのは、どこにいても原爆から逃れることはできないということです。被爆した事実は変わらず、無かったことにはならないし被害者意識からは何も生まれない。現実をあるがまま受け入れて自分の人生を歩いていこうとこれまで生きてきました。

被爆後、約 30 年経った頃、入院中に知り合った人がふざけて私の頬をつねったらガラス片の先端が頬の皮膚を突き破って出てきました。こんなに簡単に出てくるのかと驚くと同時に感動しました。そのガラス片は広島平和記念資料館に寄贈しています。

核兵器廃絶は被爆者にとって究極の悲願です。若い人には声を大にして言いたい。どうか語り繋いでください。」

ゆっくりと言葉を選ぶように語られる古家さんのお話に最後まで引き込まれました。今日聞かせていただいたお話はしっかり心に記憶して、次は自分事として行動をしていかなければならないと改めて気付くことになりました。(学習部：西村宏子)

【第 26 代 高校生平和大使】

広島県立加計高等学校芸北分校 2 年宇土未来さん

私たちは 8 月中旬スイス・ジュネーブにある国連欧州本部を訪れ、今まで集めてきた核廃絶と平和な世界の実現を訴える署名の提出と核軍縮のためのスピーチを行う予定です。そのため今日はこの場をお借りして私自身の決意表明を兼ねたスピーチとさせていただきますと思います。



核兵器を使うこと、戦争を行うことは、文化や自然そして私たちの未来までも破壊します。

私の祖父は1歳の時に被爆しました。たった1歳で燃え盛る広島を、地獄を経験しました。そんな祖父が原爆に関して何か私に伝えたことはありません。1歳という幼い頃の記憶の中でも原爆に対する恐怖や自分だけが生き残ったという自責の念が、きっと祖父を苦しめ続けていたのだと思います。核兵器や戦争は体だけでなく、心をも傷つけるの

です。

そして私は、数年前そんな祖父が亡くなり、直接被爆者の声を聴くことができる、その時間の限りを実感しました。しかし一方で世界にはなお1万発以上の核兵器が存在しています。広島や長崎の悲劇があと1万回繰り返される可能性が残っています。

私は高校生平和大使として、被爆三世として、平和な世界の実現のために、もうだれも祖父と同じ思いをすることがないように、次世代に核兵器を持ち込まないために行動していきたいと思っています。

そして高校生平和大使として直接国連欧州本部の方に意見を伝えることのできる機会に感謝し、精一杯活動していきます。応援よろしくお願いいたします。



「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン(報告)



「心を傷つけることも暴力です。」国は、毎年11月12日から25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定め、意識啓発を行なっています。広島では11月12日(日)、25日(土)に広島市、国際ソロプチミスト広島—中央とひろしま WENET が連携し、紙屋町交差点と八丁堀交差点周辺で声をかけながら啓発チラシ入りのポケットティッシュを配布しました。

女性の約4人に1人は、配偶者から被害を受けたことがあると言われます。内閣府の啓発ポスター(上記)に目を留める方も多くおられました。(広報部：門田佳子)

性犯罪・性暴力

内閣府
性暴力に関する
SNS相談
「Cure time」
(キュアタイム)



内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

はやくワンストップ
#8891

警察庁
性犯罪被害相談電話
ハートさん

#8103

配偶者・交際相手からの暴力

内閣府
DV相談プラス



内閣府 DV相談ナビ
はれれば

#8008

広島市議会「女性議員との懇談会」(報告)



9月15日に、広島市議会女性議員とひろしま WENET の会員とで懇談会を開きました。女性議員は桑田恭子さん、有田優子さん、幸城麗子さん、豊島永子さん、石川さおりさん、清水貞子さん、中村孝江さん、門田佳子さんの8人(桑田さん以外は今年の統一地方選挙で初当選)、当会からは、9人が参加しました。最初に当会の活動報告をし、その後、各議員から自己紹介と市会議員としての意気込みが語られました。まだまだ女性議員が少ない中、ジェン

ター平等の実現のために女性の声、市民の声をしっかりと市政に反映したいなど心強い発言がありました。

子育て支援、学生支援、ケア労働者の処遇改善、女性の働き方、女性の自立、少子化対策、高齢者支援、災害対策、病院の統廃合の問題、女性起業家への支援、ひとり住まいの人への政策等々、これからの広島市に求められる様々な課題が女性議員ならではの感性で見えてきたように感じました。

会員からは、会計年度任用職員の労働条件についての要望や、性犯罪・性暴力の根絶に向けて意見を述べ、また、今の保育の現状から保育士の配置基準を見直し子育て支援を充実してほしいという意見を伝えました。

最後に、広島市役所や区役所のトイレは使い勝手が悪いので改善を求める要望も出ました。

9月議会が開会した時期でもあり、新聞に掲載された女性議員の発言を、関心を持って読むことができました。これからも女性議員が提起する課題に関心を寄せ、活躍を期待したいと思います。(書記:森政美)

広島市女性団体連絡会議 2023 年度役員

役職名	氏名	団体名
会長	貴田 月美	I女性会議広島支部
副会長	平木 久恵	2000+17・平和
副会長	山本 紀子	水曜茶論
書記	森 政美	水曜茶論
書記	宮田 保江	安芸コスモスゾンタクラブ
会計	藤永 雅子	広島市未来を考える女性の会
会計	土居 絹子	安芸コスモスゾンタクラブ
学習部会長	西村 宏子	2000+17・平和
啓発部会長	中嶋 典子	Human & Network 宙(そら)
広報部会長	門田 佳子	ウィメンズ・キャンサー・サポート
監事	富川 久子	I女性会議広島支部
監事	大久保 和子	国際ソロプチミスト広島



11月25日、原爆ドーム前で女性に対する暴力撤廃の国際デーキャンドルアクション in ヒロシマが開催されました。

ひろしまWENETも協賛団体として参加し、広報部会長の中嶋さんが、人権擁護委員として中学校などへ出向き、子どもたちにデートDVなどについて学ぶ人権学習を行っていることを紹介しました。

広島市女性団体連絡会議(ひろしま WENET)からのお知らせ

ひろしまWENET2024 男女共同参画セミナー

日時:2024年2月3日(土)13時30分~16時

場所:合人社ウエンディひと・まちプラザ

6Fマルチメディアスタジオ

テーマ:女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けて

講師:弁護士 寺西環江さん

参加費:無料 どなたでも参加できます

<第1部>講演<第2部>ビデオレター&対談

2024年国際女性デーひろしま

日時:2024年3月10日(日)13時~15時

場所:合人社ウエンディひと・まちプラザ

6Fマルチメディアスタジオ

テーマ:今さらだけどジェンダー

WENET ニュース第56号 2023年11月発行

発行者 広島市女性団体連絡会議

(広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)

責任者 貴田月美